

## 「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

### 第 77 回

『「がん教育」 ～ 需要の発掘 & 問題の設定 ～』

今朝、昨日（2021年10月2日）、『言葉の処方箋応援チャンネル』に出演された、今度、千葉県我孫子市でカフェを開催される中野綾子氏から You Tube (<https://youtu.be/-JH4Ha0cKqM>) が送られて来た。既に77回とのことである。また、今回『言葉の処方箋応援チャンネル』が、電子書籍化されるとのことである。『がんと闘うあなたへ。自分だけの「処方箋」が見つかる、心の指南書。 「がんと闘う人々が自らの苦悩や体験を語る場所、「がん哲学外来メディカル・カフェ」。ここでは、がん体験者やその家族、医療関係者が参加して、対話が行われる。カフェを訪れた人の がんと懸命に向き合う様子は映画化され、2019年5月より全国各地で自主上映されていた。しかし、コロナ禍で上映を中止せざるを得ない状況に。そんな中、この波を止めまいと YouTube で「映画『がんと生きる言葉の処方箋』応援チャンネル」が立ち上げられた。自らのがん体験、そして病気や悩みを抱える全ての人に向けた「言葉の処方箋」を映画出演者にインタビューし、がんと生きるための道標となるメッセージをドキュメンタリーブックとして電子書籍化した一冊。あなたの心にも、きっと届くはず。」と紹介されている。皆様の熱意には、ただただ感服である。

10月16日『日本 Medical Village 学会』（画像）を主催される秋田大学医学部 柴田浩行 教授と秋田大学医学系研究科 医学部学務課から、『第2部は 故郷の医療を考える 中高生の作文コンクールです。応募作文より、最優秀賞（2名、うち1名「樋野賞」）、優秀賞（2名）、佳作（2名）を発表します。受賞者には賞状をお渡しします。樋野賞には賞状に「最優秀賞（樋野賞）」と記載させていただきます。また、副賞として「最優秀賞（樋野賞）」には先生の近著である「日めくり言葉の処方箋」を、加えて受賞者全員に 野澤和之監督よりご提供のDVD「がんと生きる言葉の処方箋」を副賞として贈呈いたします。さらに 応募者全員に参加賞（ボールペン）を贈呈予定です。」の連絡を頂いた。大いに感動した。歴史的大事業となろう！がん対策推進基本計画では、「がん教育」の重要性が強調されている。人間の尊厳に徹した医学・医療の在り方を考え、「潜在的な需要の発掘」と「問題の設定」を提示し、「医学・医療・教育・研究」に「新鮮なインパクト」を与えることが「がん教育」の時代的使命

であろう。「病気であっても、病人ではない」の社会構築が、「がん教育」の姿であろう。「支える & 寄り添う」、「会話 & 対話」の違いの「真剣な学びの場」の提供でもある。まさに、現代に生きる「がん教育」の基本理念であろう。

文部科学省事業／多様な新ニーズに対応する  
「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

# 日本メディカル ヴィレッジ学会

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン  
市民公開講座

ふる里の医療を考える会  
高齢化社会、そして「がん」—均てん化とリモート—

2021 **10.16** <SAT> 13:00-17:00

参加対象 医療従事者、大学院生、一般の方

オンライン  
開催  
(ZOOM)

参加費  
無料

プログラム

## 第1部 **がん教育「未来のがん医療について知ろう」 中高生のための「がんゲノム医療講座」**

- 1 リモート病理診断 秋田大学医学部附属病院病理部部長、准教授 南條 博 先生
- 2 がんゲノムの基礎 秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻臨床腫瘍学講座 教授 柴田 浩行 先生
- 3 がんゲノムの実際 秋田大学医学部附属病院 看護部／地域医療患者支援センター・遠伝看護専門 納富 理絵 先生

## 第2部 **日本の未来を考える —少子高齢化社会を担う若人からの提言—**

中高生からの作文、弁論大会、ディベートアワー

## 第3部 **専門家からの提案**

- 1 高齢化社会のデザイン～老年科専門医の立場から～ 聖路加国際大学 臨床教授 遠藤 英俊 先生
- 2 自分の町の医療とケアを『知ろう』『良くしよう』 国際医療福祉大学大学院 教授 埴岡 健一 先生
- 3 医療の隙間を埋める 順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長 樋野 興夫 先生

お問い合わせ先

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン  
秋田大学事務局(医学部学務課内)  
〒010-8543 秋田市本道1-1-1 TEL:018-801-7232 E-mail:ganpro1@jimu.akita-u.ac.jp

主催

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン秋田大学事務局／日本メディカルヴィレッジ学会

参加  
お申し込みは  
こちらから

